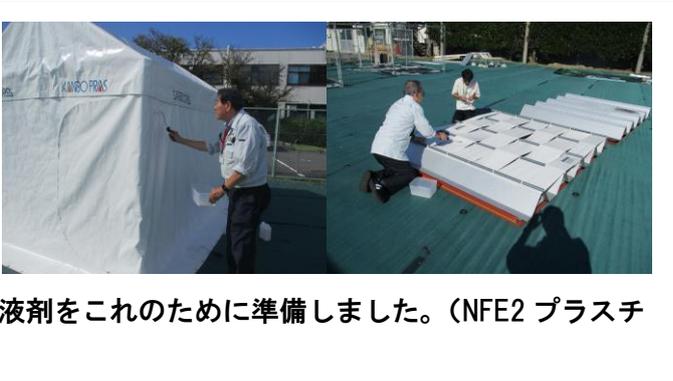


試験施工報告

<p>施工日時</p>	<p>2023年10月2日 14:00~</p>	
<p>施工場所</p>	<p>大阪市此花区西島 6-19-9 大阪ガスエネルギー技術研究所内 SPACECOOL 株式会社 曝露試験場</p>	
<p>目的</p>	<p>大阪ガス子会社の SPACECOOL 社が開発した遮熱材に NFE2 を塗布してそのセルフクリーニング作用によりばい煙による遮熱性能の低下を防ぐ効果が期待できます。</p>	
<p>施工内容</p>	<p>SPACECOOL 社の遮熱材以外に同じ塩ビ素材であるカンボウプラスチック製テントの一部にもローラー施工した。超撥水性加工の施された塩ビであるためアルコールだけでははじく恐れがあったので、溶剤の 50% をアセトンで置き換えた特製液剤をこれのために準備しました。(NFE2 プラスチック用)</p>	
<p>結果</p>	<p>超撥水性の塩ビ膜表面に NFE2 を 1~2 回塗布しただけでほぼ完全な親水性になったことを霧吹きでの散水試験で確認しました。ちなみに先方はよくご存じないようでしたので「親水性とセルフクリーニング性能は正確に相関します」と補足説明をさせていただきました。</p> 	 <p>また、ルーペによる表面観察で金属銅粒子の付着が確認でき、SPACECOOL 関係者様にそれが発する防カビ性能も含めて PR できました。</p>
<p>考察</p>	<p>塩ビのテント地だけでなく撥水性の高いプラスチック系外装材は多数見られますが光触媒を施工されたものは市場に存在せず、従って施工実績も現在に至るまでありません。これらに積極的に適用可能ですから、経時観察を踏まえてこれらへの NFE2 施工提案ができると考えられます。</p>	